

経営者、経営企画・事業企画、IR、経理・財務部門担当者のための： 『統合報告』の考え方の基本と経営への最適な活用講座

～統合思考、価値、ストーリー、KPI（重要業績指標）等のポイントを解説～

■日 時■ 2016年 4月7日 木曜日 13:00～17:00

■会 場■ 東京・麹町・企業研究会 セミナールーム

■講 師■ RIDEAL 代表 三代 まり子 氏

株式会社 価値共創 代表取締役 伊藤 武志 氏

《講師プロフィール、講座プログラムは裏面をご参照ください》

■本講座のポイントと狙い■

- ・統合報告、統合思考についての基礎を理解できる。
- ・統合思考や統合報告の経営における価値を理解できる。
- ・統合思考や統合報告を経営に役立てる方法を理解できる。

■上記を踏まえてご参加いただきたい皆様■

1.経営者の方で：

－自社経営の外部・内部的な報告や管理を向上させ、また企業や事業の価値を向上させたい方－

2.コーポレート部門の経営企画、IR、広報、総務の方で：

－統合報告書など外部報告の作成・とりまとめ・それにかかわる内外のコミュニケーションに携わる方－

3.経営企画や事業企画の事業を企画管理する立場の方で：

－経営や事業の企画管理やガバナンスの向上によって、企業や事業の価値を向上させたい方－

※本講座は、「統合報告書」の作り方などを解説するのではなく、統合報告や統合的思考の考え方の基本とその経営における活用の方法を解説いたします。

●参加要領●

●受講料● 1名（税込み、資料代含む）

正会員	32,400円	本体価格 30,000円
一般	35,640円	本体価格 33,000円

●申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてに FAX いただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日（開催日1週間～10日前までに）受講票・請求書をお送り致します。

●申込書を FAX にてご送信いただく際は、FAX 番号をお間違えないようご注意ください。

●会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより [TOP] → [公開セミナー] → [よくあるご質問] をご参照下さい。

●最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。ご了承ください。

一般社団法人 企業研究会
担当：早瀬 E-mail: hayakan@bri.or.jp
102-0083 千代田区麹町5-7-2 麹町 M-SQUARE2F
TEL 03-5215-3512 FAX: 03-5215-0951

161146-0106	2016・4・7 『統合報告』の考え方の基本と経営への活用		
会社名			
住所	〒 —		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ	
		お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ	
		お名前	
e-mail			

※お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

《セッション：1》『**統合報告**』の考え方の基本と最新動向』講師：RIDEAL 代表 **三代 まり子** 氏

《プロフィール》

米国テキサス州立大学サンアントニオ校卒業、早稲田大学大学院商学研究科 MBA、米国公認会計士。
 2005年～2010年：新日本有限責任監査法人にて会計監査、調査研究などを担当。
 知的資本・資産イニシアチブ（WICI）にて日本の製薬、自動車、電子部品産業のKPI開発に従事。
 2011年～2013年：国際統合報告評議会（IIRC）にて、主にテクニカル・マネージャーとして企業報告に関する国際的な開示の枠組み（国際統合報告フレームワーク）およびConnectivity Background Paperの開発に従事。
 また、リレーションシップ・マネージャーを兼務し、日本国内およびアジアでの統合報告の展開を担当。
 2014年4月～現在：早稲田大学商学学術院総合研究所 WBS 研究センター 招聘研究員

《プログラム》

1. 統合報告が求められるようになった背景
～ 経営における「長期的視点」を取り戻す
2. 統合思考
～ 従来型の「たこつぼ的思考」を切り替える
3. 結合性
～ 情報は「ストーリー」として伝えれば「つながり」が生まれる
4. 重要性
～ 情報は「少ないほど多くを伝える」（=Less is More）ことができる？
5. エンゲージメント
～ 社内で理解を浸透させるための「参加感」をどうつくるか？

《Q&A 対話》

《セッション：2》『**統合思考・統合報告の経営への活用方法**』講師：株式会社 **価値共創** 代表取締役 **伊藤 武志** 氏

《プロフィール》

早稲田大学政経学部卒。ノースウェスタン大学ケロッグ経営大学院 MBA、博士（経営学）。
 横浜国立大学・埼玉大学 非常勤講師。中央大学社会人講座講師。経営管理・統合報告の専門家。
 知的資本・資産イニシアチブ（WICI）会員。企業研究会戦略スタッフ研究フォーラム 研究協力委員。
 戦略立案・実行や経営管理のコンサルティング・研修の研究・開発・実践に従事。現在「ストーリーによる経営」を推進。論文に「目標のストレッチ度と高い達成可能性を両立させる計画段階の経営管理」他、著書に「BSCによる戦略マネジメント」、「技術マーケティング」（共著）、訳書に「システムシンキング」、「GE式ワークアウト」（共訳）他多数。

《プログラム》

1. 統合報告の目的。統合思考の促進と実践
2. 全社経営と事業経営における「統合思考」の実践
人・組織・事業をつなげ、短期中長期を考えてPDCAをまわす
ステークホルダー（株主、社員、顧客、パートナー、社会、環境）にこたえる
3. 経営・事業の守りと攻めの信頼性と重要性
守りの実行（オペレーション）と攻めの戦略（イノベーション）
4. 「KPI」による経営：財務と非財務、業界と自社
5. 「ストーリー」による経営：顧客と我々のストーリー
6. 「知識創造経営」の実践：イノベーションの創出サイクル
7. 最後に：経営におけるガバナンス

《Q&A 対話》

※講師と同業企業・同職種の方はご参加頂けない場合がございます。予めご了承ください。